

中学校区におけるめざす子ども像
自分で目標を持ち、思いやりを行動に移して、豊かな人間関係がつけられる子。本校がめざす生徒像「一に挨拶、二に笑顔、三に夢と希望、五に元気」

令和6年度 重点目標
・自ら学び社会で生かす「総合的な学力」の育成
・規範意識の高揚
・安全管理、危機管理体制の確立
・小中一貫教育の推進
・特別支援教育の推進

確かな学びの現状
授業や行事については、協力して真面目に取り組む生徒が多く、その結果「学校が楽しい」生徒や、「自ら進んで学ぼうとする」生徒は8割を超えている。また、全体的には落ち着いた学習環境も維持できているが、一部に衝動的に行動するなど課題を抱える生徒もいる。集団として学びに向かう力を育てていく。
総合学力プロフィールでは、3つの資質・能力についてほぼ堺市平均になっている。さらに1年前の同一集団と比較すると特に知識・技能で上昇が著しい。
昨年度から生徒用個人端末をどの授業でも活用する研修を重ねている。アフターコロナのなかで、生徒の体験活動の範囲を少しでも広げていきたい。

豊かな心・健やかな体の現状
豊かな心の醸成は、道徳の時間を要として、人と人との協働して生きていくために必要な心を育てることが大切だと考える。そのために教科書による道徳の時間を充実させ、豊かな心の育成に努める。また平和教育、異文化理解、人権教育を柱に、本校の特徴でもある飼育・緑化活動など多岐に渡る体験を通して生徒へ働きかけていく。「いじめや暴力を見て見ぬふりをしない」生徒は77%いるが、いじめ・暴力根絶に至っていない。さらに取り組む必要がある。
体育授業に対する取り組みは、3学年とも前向きである。生涯に渡って、運動に親しむ土壌作りの一環として、小学校からの流れを大切に、敏捷性・持久力・筋力の向上をめざしたトレーニングを計画的に実施していく。

大項目	中項目	具体的取組 (●重点とする取組 ★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし) 総合=総合学力プロフィール 全国=全国学力学習状況調査 ○数字=校内アンケート	評価方法	評価時期	進捗確認 (～10月)	達成状況(年度末)	
							自己評価	学校関係者評価
確かな学び	授業改善	・静謐な学習環境を保持する ・言語活動を効果的に取り入れ、各教科等における深い学びの場を設定し充実させる。 ・信頼性の高い評価の実施	授業を大切に静謐な教育環境を維持する。堺版授業スタンダードを基にした授業改善で、基礎学力の向上を図る	総合C2生徒⑥「学校のルールを守っている」生徒の割合が96%以上	総合学力プロフィール 生徒アンケート	学年末 - ①「子どもは、わかりやすく教えてくれる先生が多い」と言っているとする保護者が78%以上	◎ ○ ×	○ ○ △
	個に応じた教育	・習熟度別少人数授業の充実 ・生徒一人一台パソコンの活用推進 ・インクルーシブ教育構築にめけて、特別支援教育を推進発展させる	数学・英語での少人数習熟度別指導を効果的に行う。 ●GIGA端末等ICT機器を授業内で効果的に活用し、授業方法の改善工夫を行い、学力向上を図る。 教職員による特別支援教育および不登校生徒への対応などの研修を通じて個に応じた教育への理解を深め、教育実践にあたる	総合C2生徒⑥「学校のルールを守っている」生徒の割合が96%以上 ①「子どもは、わかりやすく教えてくれる先生が多い」と言っているとする保護者が78%以上 生徒②保護者の⑨のICT活用アンケートが80%以上 研修内容 支援学級および学級での授業の見取り	生徒アンケート 生徒・保護者アンケート	学年末 - - - ○	◎ ○ × ○	○ - △ ○
豊かな心・健やかな体	豊かな心・人間性	・授業、行事、部活動を通して、自己肯定感を高め、達成感を味わう ・将来の夢や目標に向かって「やる気」スイッチを入れる ・道徳や人権に関する授業の充実を図り、他者理解に努め、自分も他者も大切に育てる子どもの育成を図る	★生徒が自分にはいいところがあると感じているか。小中一貫教育を推進し、日々の教育活動を通して自尊感情を高め、他者を理解する気持ちや、助け合い、協力の精神を醸成できているか ●夢や目標を持ち、粘り強く取り組んでいるか ★生徒指導委員会を毎月開催し情報共有し、チーム学校として対応する ★全国学調での「いじめはどんな理由があってもいけないこと」の肯定的回答が95%以上 ★心の教育(人権教育、道徳)における授業の見取り	生徒⑨C4全国(7) 「自分には良いところがある」と答える生徒が80%以上 全国9(3)生徒が夢を持ち目標を立てられるような指導を心掛ける教職員が100% ・学調⑬「いじめはどんな理由があってもいけないこと」の回答 ①「いじめや暴力は見て見ぬふりをしない」との回答が82%以上 ・授業の見取り	全国学調 総合学力プロフィール 生徒アンケート 全国学調 全国学調 生徒アンケート 見取り	1学期末 学年末 ○ ○ ○	◎ ○ △ ○	◎ ○ ○ ○
		・生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を継続していきける意識の醸成を図る	・健康や保健体育への興味関心を高めることができたか	総合B1「外で体を動かすことが好きか」の肯定的回答が80%以上	総合学力プロフィール	学年末 ◎	◎	○
		体験活動の充実	小学校での指導内容を受け、9年間を見通した日々の教育活動を実践	●緑化・飼育活動を全員が体験し、生命のはかなさ、大切さを実感することで美木多の独自性のある教育活動を実践 ●小中連携活動について保護者理解は得られているか	生徒②保護者の⑨ ●緑化・飼育活動1「ハ」の肯定的回答が生徒保護者とも95%以上 ●保護者④「小中連携」ハの保護者の肯定的回答90%以上	生徒アンケート 保護者アンケート	学年末 ○	○

校長より(年度末)
本プランの判断基準をより客観性を持たせるため、4月全国学力・学習状況調査(対象3年)と9月堺市児童生徒学習・生活状況調査(全学年対象)および12月実施の校内アンケート調査(全学年生徒・保護者・教職員)をもとに達成状況の自己評価を行った。特に11月以降、教員の欠員の問題であったり、生徒の課題解決に奔走する教員に過重な負担がかかったこともあり、12月アンケートの結果はほぼすべて昨年比マイナスの評価であった。そのなかでも、生徒アンケートで「先生は、授業やその他の活動で自分が努力したことを認めてくれる」が、昨年度比+0.5で85.3であったことは、我々に確かな手ごたえと勇気をもたらしたように思えます。今後も生徒を信じ、保護者と連携をしてしっかり課題に向かってまいります。

学校関係者評価者から(年度末)
11月に行った第2回協議会で学校が困っていることをお伝えした後、学校を応援するため駆けつけていただき、その時の現状もご理解いただいた。そこから3か月を経て改善されてきたことを認識いただいた。学校に寄り添っていただき、教員のなりて不足、ブツツと言われる労働条件のことや教育予算のことまで考えていただいた。地域の課題を踏まえつつ、どうすれば学校がよりよくなるのか貴重な提言をいただいた。